

論文審査の結果の要旨

申請者氏名 ヘルマン・ヒダヤット

本論文は、インドネシアにおける森林政策の動態を、「ポリティカル・エコロジー」の視点から、特に利害関係者)の動向と論理に着目して明らかにしたものである。

1章では、インドネシアの森林・林業を巡る状況と問題を述べたうえで、次のような研究目的を設定した。(1) スハルト体制における森林管理のための国家政策を明らかにする。(2) 森林消失に関与する直接的・間接的なアクターの動向を明らかにする。

(3) 改革期における森林政策を明らかにする。(4) 東カリマンタン州とブンクル州の事例研究を通して森林政策に対する人々の反応を明らかにする。

そのためのフレームワークとして、本論文では「ポリティカル・エコロジー」研究のなかでも、特にアクターの動向や論理に焦点を絞る研究(=アクター分析)を採用した。これによって、インドネシアの森林政策を公正に評価する視点と材料を提供することに本論文は成功している。研究の具体的手法は、文献調査、利害関係者に対する詳細なインタビュー、東カリマンタン州とブンクル州におけるフィールド調査である。

2章では、スハルト体制(1966-1998年)のもと、林産物などの天然資源が中央集権的に開発されたことが示されている。森林管理の主要アクターであった国家(林業行政)は国内外の企業家にコンセッションに基づく伐採事業を促した。たしかに、森林伐採産業、合板産業、紙・パルプ産業が外貨獲得および雇用創出において重要な役割を果たしたことは事実である。しかし、私企業・国営企業・国軍企業に対するコンセッションの認可に絡んだ腐敗と汚職が横行し、政治的エリートや民間企業へ利益が集中した。さらに、政府が森林に対する地元住民の慣習的権利を認めなかったため、森林地域の人々とコンセッション保持者(=伐採企業)との間に土地をめぐる紛争が生じた。生計の糧であった土地を企業に奪われて人々の生活が苦境に陥るケースも多発した。森林地域の人々は経済的・政治的に周辺化されていったのである。

一方で、世界銀行、国際通貨基金、アジア開発銀行といった国際援助機関、および二国間援助機関といった間接的アクターは、森林消失を促進した。また、同様に間接的なアクターであるNGOや学者は、森林消失およびそれによる環境問題の助長、あるいは地元住民への生態的・経済的な悪影響について批判を表明する重要な役割を果たした。

3章では、改革期(1999-2004年)において直接的アクターとなった地方政府が、民主化の促進、説明責任の向上、透明性の確保、参加の促進を通して森林ガバナンスの改善に取り組んでいることが示されている。地元住民の生活は、政治的・経済的・社会的にみてスハルト時代に比べて改善される方向にある。それは、森林に対する慣習的な権

利が認められ、森林の利用・管理に関与することができるようになり、土地紛争の結果として補償金を獲得し、造林基金を活用して慣習地を植林することができるようになったことに表れている。しかしながら、地方分権の促進に伴って、様々なアクターの間に関心と利害の衝突が生じているのも事実である。

4章および5章では、人々の反応に関するフィールド研究の結果がまとめられている。東カリマンタン州のM村では、現金収入源である籐や木材の利用をめぐる住民と軋轢のあったコンセッション保持者が、改革期になってから住民の慣習権を尊重して補償金を支払った。ブンクル州のB村では、人々の重要な現金収入源であったコーヒー園を含む一帯が行政機関によって保安林や生産林に指定されていたが、改革期になって住民の権利が見直されてコーヒー園の保持が合法化された。

6章は結論である。権威主義・中央集権主義であったスハルト時代には、国家（林業省）、民間企業、国営企業といった直接的なアクター、および国際援助機関（世界銀行、国際通貨基金、アジア開発銀行）といった間接的なアクターは、経済的な利益を得るとともに、権限と政治力を強めた。そして、直接的アクターは林業関連法を遵守せず、持続可能な森林管理の原則に対する学者やNGOによる批判を無視したため、森林の消失や劣化を引き起こしてしまった。

これに対して、改革期では様々な利害関係者が計画策定、実施、モニタリング、予測の段階に関与できるようになった。その結果、国家や民間企業（直接的アクター）は、インドネシアの森林管理政策における権力を低下させた。一方で、地元住民、地方政府、NGO、学者といったアクターはその地位を高めた。

以上のように、本論文は、豊富な既存研究のサーベイと焦点を絞ったフィールド研究に基づいて、インドネシアの森林政策の動態を諸アクターの動向と論理から解明しており、学術上および政策実践上の貢献が大きい。よって審査委員一同は、本論文が博士（農学）の学位論文として価値あるものと認めた。